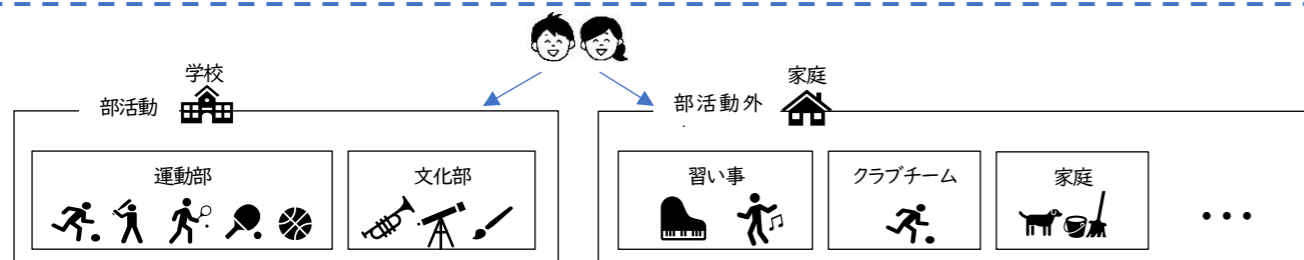
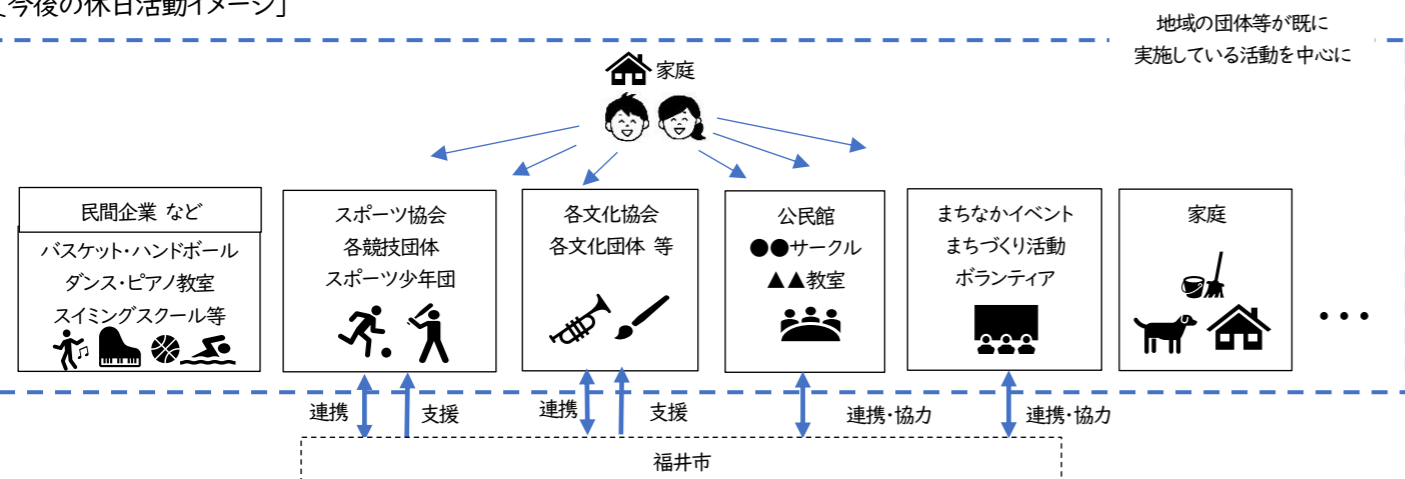


[これまでの活動]



[今後の休日活動イメージ]



生徒たちは、これまで「学校の部活動」を中心に放課後や休日を過ごしていました。部活動も含め学校生活で得たたくさんの経験はこれまでの中学生を大きく成長させてきました。でも、これからは、中学生が持つ可能性を更に大きく広げていくことを、保護者も、地域も、行政も、そしてもちろん、中学生自身が体験していくフェイズを迎えます。

学校だけでなく、地域で、市内で、いえ県内外をフィールドとして、これまでの部活動をさらに高めたり、今まで体験していなかったことや新しい自分の可能性や興味のある「モノ」「コト」に挑戦したりする機会です。

このような体験を通して、自分自身の成長はもちろん、このまちのことや人のことを知り、もっと福井のことを好きになるチャンスだと考えています。

この福井のまちには、スポーツ・文化芸術活動、サークル活動、ボランティア活動、習い事など多様なことにチャレンジできる場が広がっています。

これからは……

「私の学校にない種目ができる」

「休日はほかの種目をしたい」

「休日は休みたい」

「スポーツは苦手でもちょっと楽しみながらやりたい」

このような生徒の希望に沿った活動になります

～可能性を探り未来へつなぐ～

ドリーム通信 vol.1

学校の部活動から地域のクラブ活動へ



学校内から
福井市全部が
みんなのフィールドに

地域クラブ活動推進協議会を開催(令和5年12月12日 第1回会議開催)

協議会では、国や県の方針を受け、令和5年から7年までの改革推進期間における休日の部活動や地域クラブの在り方について検討し、年度内にビジョンを示していくことになりました。

また、運動部会と文化部会を設置し、それぞれの分野について課題を整理し、より具体的に検討していくこととなりました。

事務局にはワーキンググループを置き、各スポーツ・文化芸術関係団体や各学校等と連絡・調整を図っていきます。

国の方針「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

(前文の要旨)

部活動の指導と意義

- ・部活動は生徒が自主的・自発的に参加し、教師の献身的な支えによりスポーツ・文化芸術振興を担ってきた活動。
- ・異年齢との好ましい人間関係の構築や生徒の自主的で多様な学びの場として教育的意義を有してきた活動。

部活動の現状

- ・少子化が進行し部活動を従前同様に維持できなくなり、学校によっては存続が厳しい。
- ・生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現には地域との連携・協働による持続可能な環境が必要。

地域クラブ活動へ

- ・具体的な方策を検討し、休日の部活動を地域スポーツクラブ活動、地域文化クラブ活動へと移行していく。

県の方針「学校部活動および新たな地域クラブ活動のあり方等に関する方針」

(策定趣旨の要旨)

- ・少子化の中でも将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動(以降、諸活動)に継続して親しむ機会を確保することを目指す。
- ・生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境となるよう、適正な運営や効果的な活動の在り方を示す。
- ・地域の持続可能で多様な環境の一体的な整備により、実情に応じ諸活動の最適化を図り体験格差を解消する。
- ・本方針は、義務教育である中学校の生徒の部活動および地域クラブ活動を対象とする。

中学校に入ると部活動が始まります。部活動って何ですか？

1. 自由加入制で必ず入る必要はありません
2. 放課後や休日に活動します
3. 活動時間は大会前など少し長くなることもあります

福井市内の中学生の1週間(例)

時間	8:00	15:30	16:00	17:30 (冬季)	18:00 (夏季)
月	授業	授業	部活動(2h)		
火	授業	授業	部活動(2h)		
水	授業	自分の時間			
木	授業	授業	部活動(2h)		
金	授業	授業	部活動(2h)		
土	部活動(3h)	自分の時間			
日	自分の時間(休日は大会やコンクール等で活動することもあります)				

福井市内の中学校は次の時間で活動しています

<夏季> 部活動は 17:50 まで 下校時間は 18:00

<冬季> 部活動は 17:20 まで 下校時間は 17:30

※部活動の活動時間は、平日は 2 時間、休日は 3 時間までとなっている

部活動には加入せず、地域のクラブで活動している生徒もいます

部活動とは… (Q&A)

会議や懇談会等で保護者や市民の皆さんからいただいた質問にお答えします。

Q1 学校によって部活動が選べないって本当ですか？

A1 市内の〇〇中学校は20部、△△中学校は2部と選択できる部活動数に大きな差が生じています。

Q2 部活動は意義のある活動だと思います。どうして今のまま維持できないのですか？改革は必要なのですか？

A2 部活動は教育的に大きな意義のある活動ですが課題も多く、今回の改革では大きな課題として次の2点があげられています。
1つは、少子化により部活動数が減り、Q1 のように学校によっては希望の部活動がないことや新種目(例えば、ダンスやトランポリン等)が増えないため多様な活動ができないということです。
2つ目は、教員の専門性や意思に関わらず顧問としてこれまでのように部活動を指導することは、本来の業務に負担がかかっているということです。

Q3 多様な活動ができないとは、どういうことですか？

A3 例えば、小学校の時にしていた活動が中学校にないため途切れてしまったり、部活動にはない種目等ができなかったりなど、子どもたちのニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会が少なくなっているということです。

Q4 部活動は教員の仕事ではないのですか？

A4 確かに学校で部活動を行う場合は、教員がその仕事を担うことにはなりますが、校長は勤務時間外の指導を教員に命じることはできません。また、教職員の勤務時間は学校の始業時間によって異なりますが、終業は 16:30 前後となっています。

Q5 教員は勤務時間外に指導しているということですか？

A5 そうです。「自主的」に指導しており、時間外手当もありません。無償ボランティアです。

Q6 多くの部活動は休日に活動していますよね。また、練習試合や大会などでは、ほぼ一日の活動になることもありますよね？

A6 本来であれば活動する必要はありませんが、教員の熱意で指導しています。また、大会などでは、小さいお子さんのいる教員は家族に預けるなど家族にも負担がかかっています。

Q7 授業の準備はいつしているのですか？

A7 ほとんどは部活動指導後にしています。休日に学校へ来て準備することもあります。授業の準備にじっくり取り組めないことに負担を感じている教員もいます。

Q8 このようなことも近年、教員の志願者が減少している理由の一つですか？

A8 はい、そう思います。このような勤務もあり、「ブラック」と言われることもあります。教員が不足すると普段の授業にも支障が出る可能性があります。

休日が地域クラブ活動になると？(Q&A)

地域クラブ活動とは…
地域にあるスポーツクラブや文化芸術活動のことです。文化芸術活動には公民館の各種活動やまちづくり活動、ボランティア活動などを含みます。

Q9 休日に活動したい場合はどうすれば良いのですか？

A9 休日は個人の自由になります。自分がやりたいスポーツや文化活動のある人は、中学生を受け入れている地域クラブ活動へ参加することもできます。

Q10 いろいろな種目に取り組むことは可能ですか？

A10 これまでの部活動は、ほぼ毎日活動するような形態でしたが、これからは、平日は部活動、休日は部活動と違う活動が気軽にできるようになります。

Q11 部活に入らないと高校入試で不利になりますか？

A11 そのようなことはありません。部活動に限らず、地域クラブの活動や習い事、ボランティアなど自分自身を成長させる活動は様々あり、どの活動も同様に大切です。

Q12 部活動にない新しい種目をやりたい場合はどうしたらよいのですか？

A12 地域や民間企業など、社会には多くのジャンルのクラブなどがあります。自分がやりたい種目等で中学生が参加できるクラブで活動してみましょう。

Q13 地域クラブ活動になると、費用等はどのようにになりますか？

A13 種目等によって異なりますが、参加費や保険料などが必要なクラブもあります。基本的には、習い事と同じように個人の負担になります。